

1 調査概要

本調査は、まちづくりの総合的な方向性を定める第2次奥出雲町総合計画・第2期奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、町民の生活実態に関する意識やニーズ、施策に関する意見等を把握し、奥出雲町における行政課題を分析することにより、計画の基本方針や施策の立案に向けた基礎資料とすることを目的とする。

調査期間	令和2年7月28日～令和2年8月14日
調査対象	町内在住の18歳～79歳の男女
標本数	2,455人
抽出方法	住民基本台帳から地区別での無作為に抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収調査
有効回収数	1,314件(有効回収率53.5%)

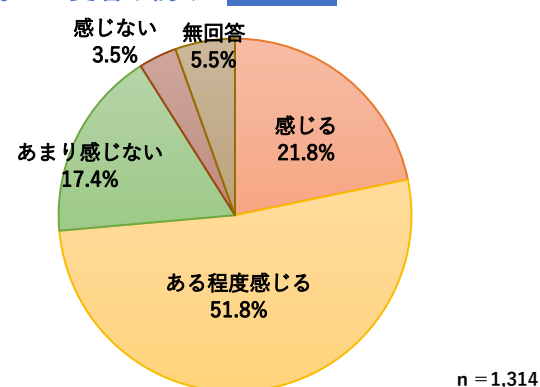
■回答者属性

	男性	女性	無回答	合計
10代	5人	8人		13人
20代	27人	28人		55人
30代	42人	43人	1人	86人
40代	87人	81人		168人
50代	107人	111人		218人
60代	202人	183人	1人	386人
70代	181人	202人		383人
無回答	2人		3人	5人
合計	653人	656人	5人	1,314人

2 調査結果

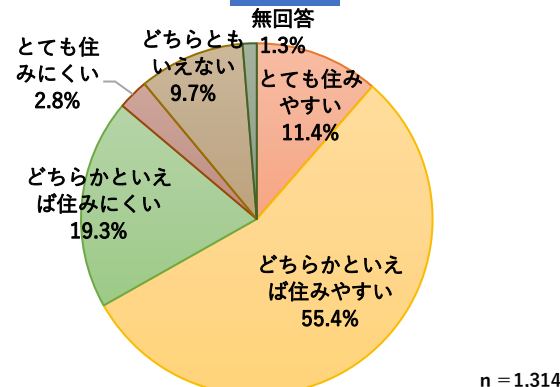
(1) 奥出雲町での生活について

①奥出雲町への愛着や誇り 問 28 SA



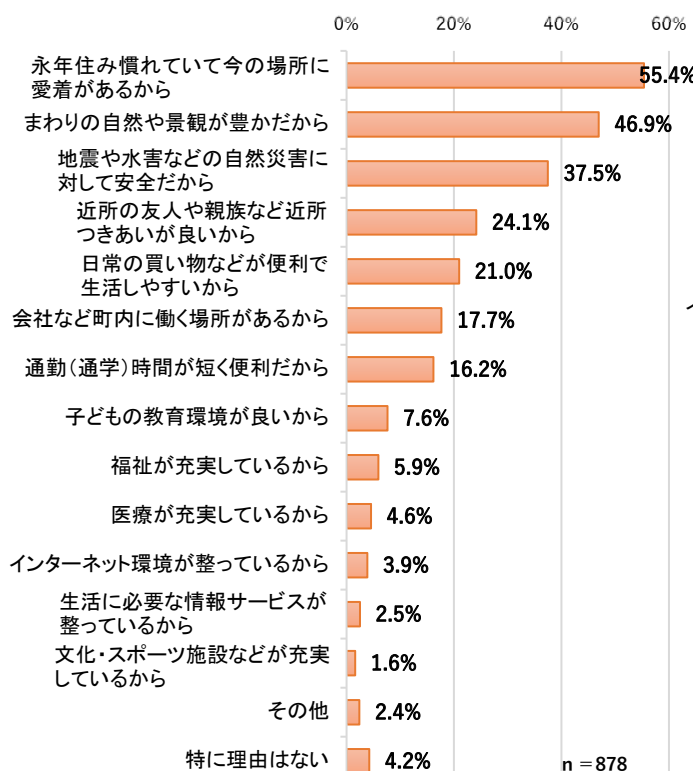
●奥出雲町に「愛着や誇りを感じている」方が約7割を占めている。
(「感じる」「ある程度感じる」の合計)

②奥出雲町の住みやすさ 問 11 SA

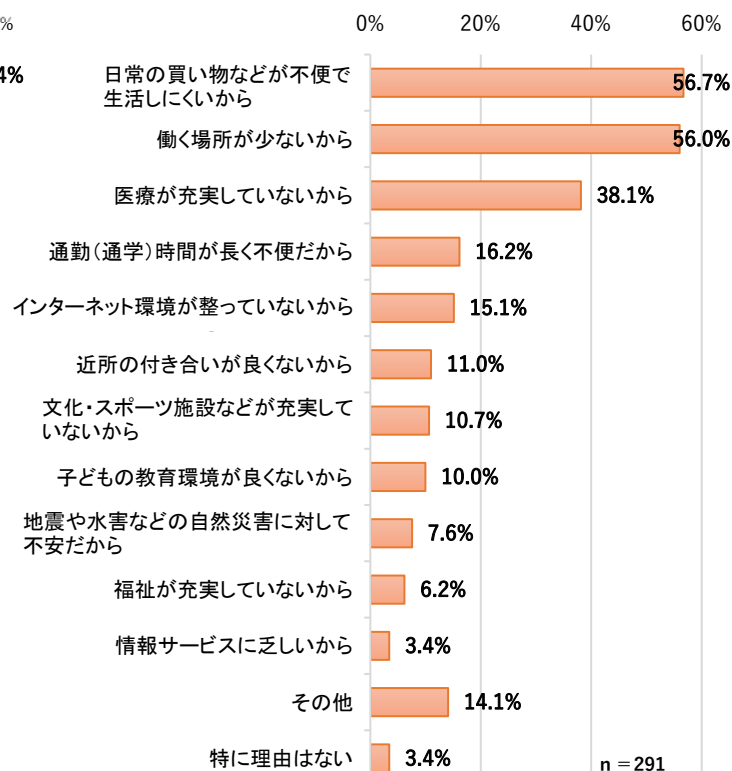


●「住みやすい」と感じている方が約7割を占めている。
(「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計)

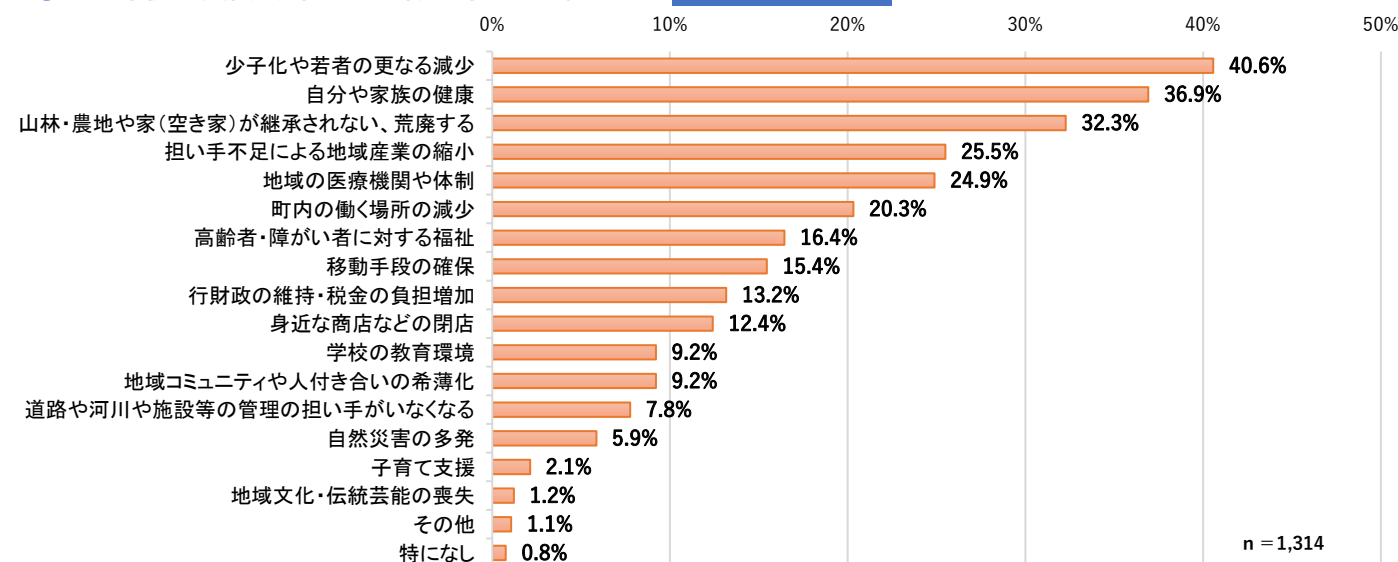
②-1. 住みやすいと思う理由 問 11-1 MA (3つ)



②-2. 住みにくいと思う理由 問 11-2 MA (3つ)



③10年後の奥出雲町での生活に対する心配ごと 問 30 MA (3つまで)



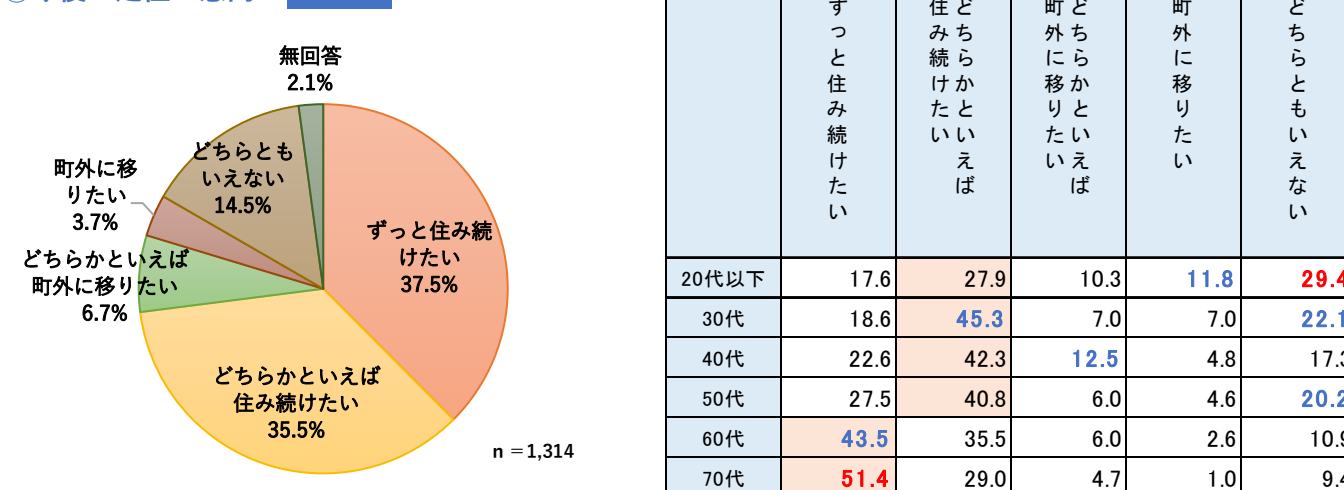
	自分や家族の健康	高齢者・障がい者に対する福祉	学校の教育環境	子育て支援	地域の医療機関や体制	少子化や若者の更なる減少	担い手不足による地域の産業の縮小	町内の働く場所の減少	閉店・近隣の商店などの減少	移動手段の確保	地域コミュニティの希薄化	地域の文化・伝統芸能の喪失	自然災害の多発	道路や河川や施設等の管理の担い手がなくなる	いきなり荒廃する家(空き家)の継承	山林・農地が継承されない	行財政の負担増加・税金	その他	特になし
20代以下	25.0	22.1	10.3	14.7	22.1	42.6	25.0	30.9	20.6	13.2	7.4	8.8	1.5	2.9	17.6	7.4	2.9	1.5	
30代	23.3	12.8	30.2	5.8	33.7	50.0	22.1	30.2	16.3	5.8	8.1	0.0	5.8	2.3	17.4	15.1	0.0	1.2	
40代	31.5	19.0	19.0	1.8	25.6	45.8	23.2	29.2	8.9	10.7	8.3	1.8	2.4	6.5	25.6	16.1	0.6	1.8	
50代	38.1	13.3	7.8	2.3	26.1	45.0	23.4	18.3	13.8	17.9	9.6	1.4	6.4	5.0	30.3	13.3	1.8	0.0	
60代	40.2	15.0	5.7	0.5	25.4	38.1	29.0	16.6	11.4	18.4	8.3	0.3	7.5	9.8	34.7	13.7	0.8	1.0	
70代	40.5	18.3	4.2	0.8	22.2	36.0	25.1	17.0	11.7	15.7	11.0	0.8	6.3	9.7	39.7	12.0	1.0	0.3	

※表中の数値は%を表している。
※数値の網掛けはその区分において最も高い数値を示す。(「その他」「無回答」を除く)
※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

- 「少子高齢化」・「自分や家族の健康」が心配されている。
- 「20代以下～40代」では、「町内の働く場所の減少」が全体平均よりも高い。
- 「20代以下」では「子育て支援」、「30代」では「学校の教育環境」の割合が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

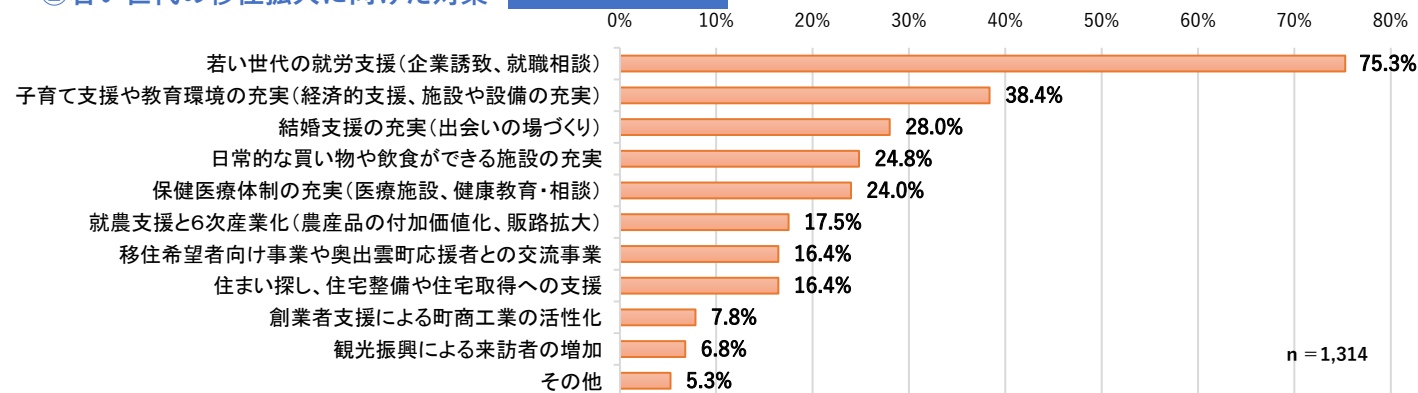
(2) 人口減少対策について

①今後の定住の意向 問 12 SA



- 「ずっと住み続けたい」37.5%、「どちらかといえば住み続けたい」35.5%と約7割が定住意向あり。
- 「20代以下」では、町外への移住意向を持っている方が多く、全体平均の倍程度となっている。
- 若い世代ほど定住・移住に対して明確な意向がない(どちらともいえない)割合が高くなっている。
- 高齢世代ほど定住意向が高い。

②若い世代の移住拡大に向けた対策 問14 MA (3つまで)

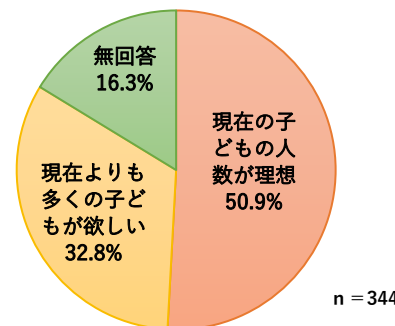


	い充結の場(り)	施設の充(実)	子育の支(援)	育設(相)	保制(医)	が設(健)	日常的(的)	致(就)	若(企)	工(業)	創(産)	化(産)	6(農)	就(農)	よ(観)	援(出)	向(住)	得(住)	備(住)	し(ま)	そ(他)
20代以下	22.1	41.2	20.6	54.4	66.2	2.9	8.8	14.7	7.4	17.6	5.9										
30代	23.3	41.9	24.4	37.2	72.1	10.5	4.7	5.8	16.3	37.2	4.7										
40代	15.5	51.2	29.8	29.2	76.2	8.3	11.3	4.8	14.3	22.6	7.7										
50代	25.7	42.7	23.4	23.9	80.7	7.8	11.0	5.0	11.0	20.2	8.3										
60代	30.6	40.7	23.6	19.7	76.7	8.5	21.8	6.2	17.4	13.5	3.6										
70代	34.2	26.9	23.0	20.1	72.3	7.3	24.0	8.1	21.1	9.7	4.2										

- 「若い世代の就労支援」が約8割を占める。次いで「子育て支援・教育環境の充実」、「結婚支援の充実」が高い。
- 「20代以下～30代」では、「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」が全体平均よりも高い。
- 「30代」では「住まい探し、住宅整備や住宅取得への支援」が、「40代」では「子育て支援や教育環境の充実」が全体平均よりも高い。

③理想とする子どもの数 問17-2 SA

現在、出産を望んでいる方、または、子育てをしている方のみ



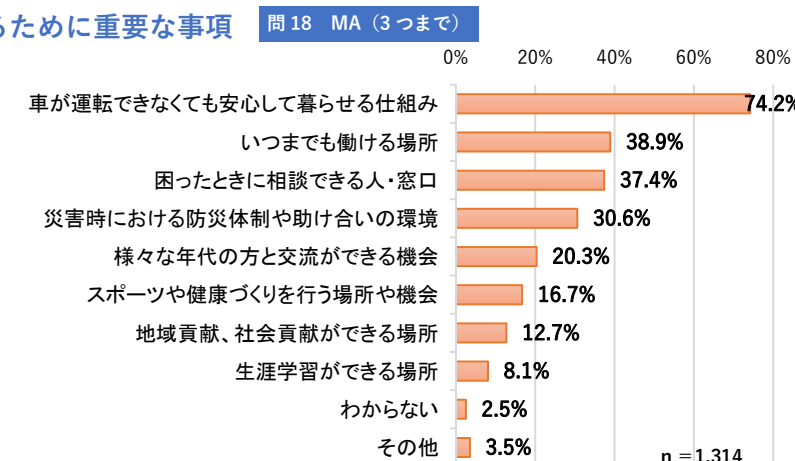
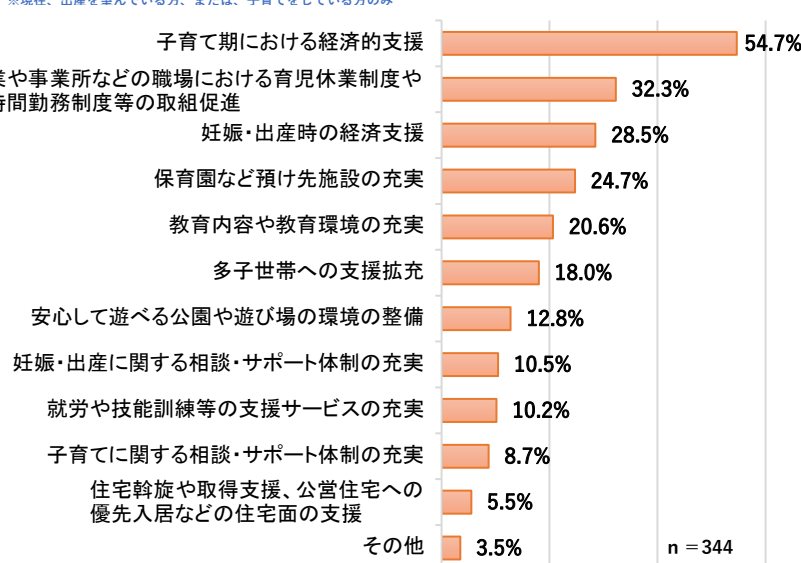
- 理想とする子どもの数を実現できていない方(「現在よりも多くの子どもが欲しい」方)が約3割を占めている。
- 出産・子育てについて、「経済的支援」「子育てしやすい環境づくり」(職場の支援制度の促進、預け先施設の充実)の取り組みが行政に期待されている。

⑤地域の人口が減少する中で暮らし続けるために重要な事項 問18 MA (3つまで)

- 「車が運転できなくても安心して暮らせる仕組み」が最も高い。年代別でも、全ての年代で最も高かった。
- 次いで、「いつまでも働ける場所」「困ったときに相談できる人・窓口」「災害時における防災体制や助け合いの環境」との回答が高い。

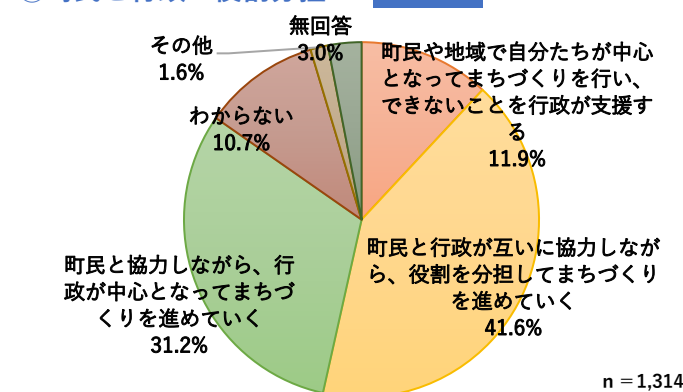
④行政に期待する取り組み 問17-4 MA (3つまで)

※現在、出産を望んでいる方、または、子育てをしている方のみ



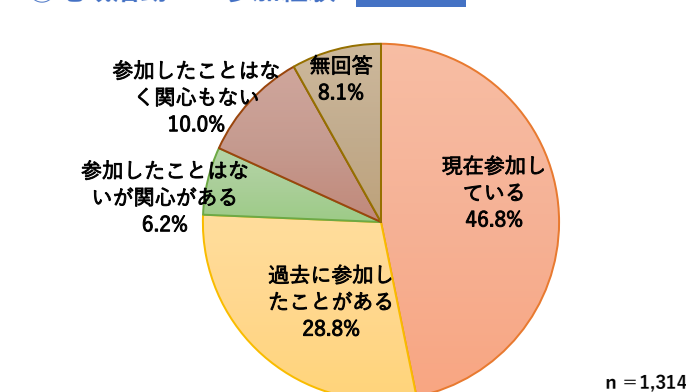
(3) 地域活動・町民参画について

①町民と行政の役割分担 問19 SA



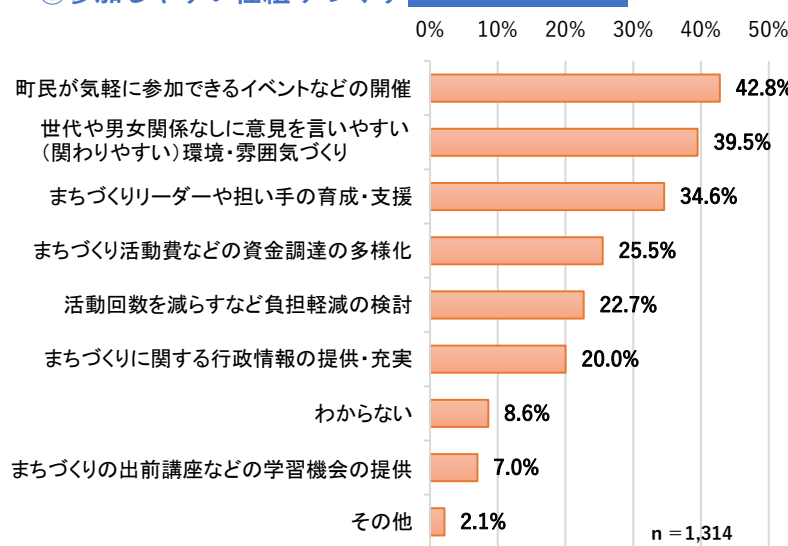
- 互いに協力しながら「役割を分担して」進めていくが最も高く、次いで、互いに協力しながら「行政が中心になって」進めていく。

②地域活動への参加経験 問20 SA



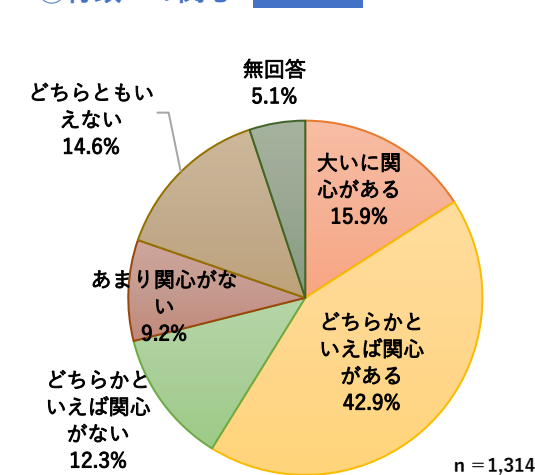
- 地域活動への参加経験者は約8割を占めている。
- 参加したことはないが興味もない方が1割であった。

③参加しやすい仕組みづくり 問21 MA (3つまで)



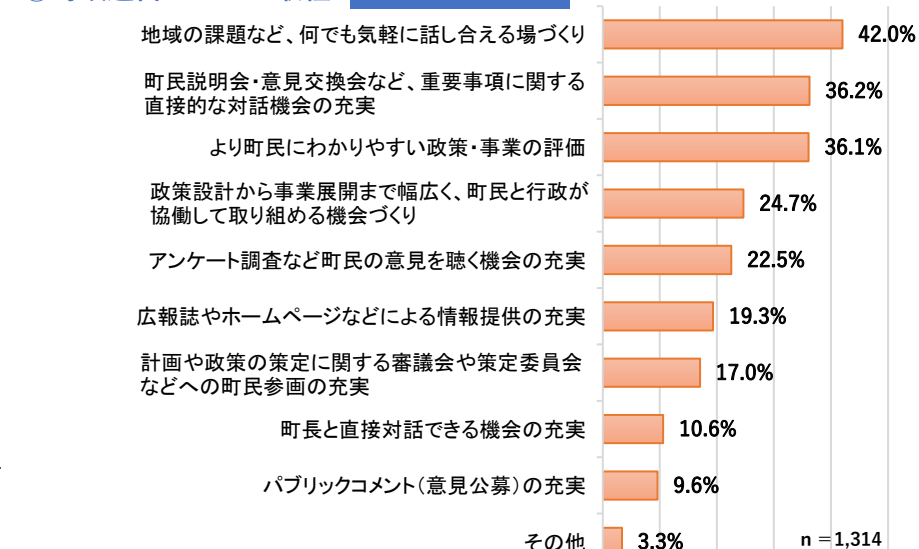
- 「気軽に参加できるイベントの開催」「意見を言いやすい環境・雰囲気づくり」「リーダーや担い手の育成・支援」が高い。
- 「20代以下」では「行政情報の提供・充実」「町民が気軽に参加できるイベントなどの開催」が全体平均よりも高い。
- 「30代～40代」では「活動回数を減らすなどの負担軽減の検討」が全体平均よりも高い。

④行政への関心 問25 SA



- 全体の約6割が奥出雲町の行政に関心を示している。「大いに関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計

⑤町政運営のための取組 問26 MA (3つまで)



- 「地域の課題など、何でも気軽に話し合える場づくり」「町民説明会・意見交換会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」「より町民にわかりやすい政策・事業の評価」が高い。

(4) 施策の充足度・重要度について

① 施策の「充足度」と「重要度」の指標化 問21 SA

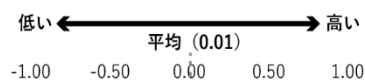
第1次奥出雲町総合計画に掲げた40の施策について、それぞれの「充足度」と「今後の重要度」を5段階評価でたずねた。

施策の「充足度」と「重要度」をよりわかりやすく分析するため以下のように係数(ウエイト)を設定し、加重平均による指標化を行った。

【充足度】
 「達成している」の件数×2点+「やや達成している」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「あまり達成していない」の件数×-1点+「達成していない」の件数×-2点)÷(回答者件数-無回答件数)

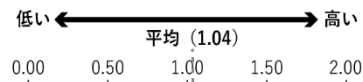
【重要度】
 「重要である」の件数×2点+「やや重要である」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「あまり重要ではない」の件数×-1点+「重要ではない」の件数×-2点)÷(回答者件数-無回答件数)

■ 施策の充足度



施策番号	施策名	充足度
1	農業振興	0.39
2	畜産業振興	-0.10
3	林業振興	-0.23
4	商業振興	-0.50
5	工業振興	-0.50
6	雇用環境整備	-0.60
7	定住対策推進	-0.43
8	交流による農村活性化	-0.34
9	産業創出・育成	-0.28
10	新エネルギー推進	-0.49
11	神話・自然等観光振興	-0.03
12	観光レクリエーション施設振興	0.22
13	広域連携観光振興	-0.23
14	保健施策推進	0.20
15	地域福祉推進	0.05
16	高齢者福祉充実	0.25
17	障がい者福祉充実	0.03
18	ひとり親家庭福祉充実	0.05
19	医療体制充実	-0.19
20	学校教育充実	0.20
21	社会教育推進	0.23
22	図書サービス充実	0.14
23	人権施策推進	0.03
24	広域間・国際交流推進	0.00
25	地域文化振興	0.11
26	スポーツ振興	0.46
27	子育て支援充実	0.31
28	地域コミュニティづくり推進	-0.02
29	男女共同参画社会推進	-0.09
30	消防・防災体制充実	0.33
31	安全対策推進	0.24
32	公共施設利活用	0.00
33	道路網整備	0.08
34	公共交通体系整備	0.01
35	情報化推進	0.08
36	住宅等整備	-0.05
37	上下水道整備	0.72
38	自然環境保全・景観形成	0.41
39	地球温暖化防止対策	-0.06
40	循環型社会の構築	0.08

■ 施策の重要度



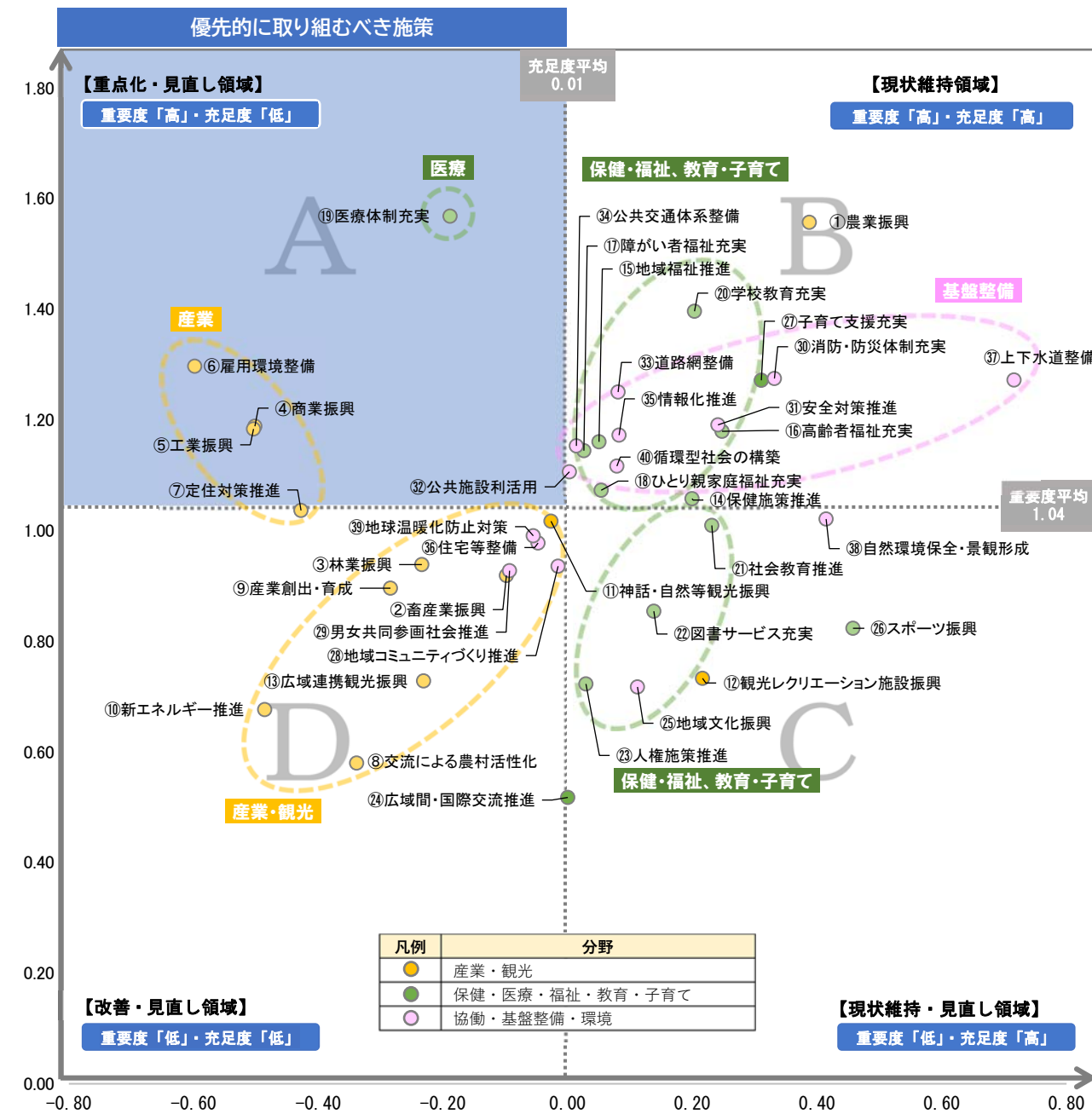
施策番号	施策名	重要度
1	農業振興	1.56
2	畜産業振興	0.92
3	林業振興	0.94
4	商業振興	1.19
5	工業振興	1.18
6	雇用環境整備	1.30
7	定住対策推進	1.04
8	交流による農村活性化	0.58
9	産業創出・育成	0.90
10	新エネルギー推進	0.68
11	神話・自然等観光振興	1.02
12	観光レクリエーション施設振興	0.73
13	広域連携観光振興	0.73
14	保健施策推進	1.06
15	地域福祉推進	1.16
16	高齢者福祉充実	1.18
17	障がい者福祉充実	1.14
18	ひとり親家庭福祉充実	1.07
19	医療体制充実	1.57
20	学校教育充実	1.40
21	社会教育推進	1.01
22	図書サービス充実	0.85
23	人権施策推進	0.72
24	広域間・国際交流推進	0.52
25	地域文化振興	0.72
26	スポーツ振興	0.82
27	子育て支援充実	1.27
28	地域コミュニティづくり推進	0.94
29	男女共同参画社会推進	0.93
30	消防・防災体制充実	1.27
31	安全対策推進	1.19
32	公共施設利活用	1.11
33	道路網整備	1.25
34	公共交通体系整備	1.15
35	情報化推進	1.17
36	住宅等整備	0.98
37	上下水道整備	1.27
38	自然環境保全・景観形成	1.02
39	地球温暖化防止対策	0.99
40	循環型社会の構築	1.12

●充足度が最も高いのは「37.上下水道整備」次いで「26.スポーツ振興」「38.自然環境保全・景観形成」
 ●充足度が最も低いのは「6.雇用環境整備」次いで「4.商業振興」「5.工業振興」

●重要度が最も高いのは「19.医療体制充実」次いで「1.農業振興」「20.学校教育充実」
 ●重要度が最も低いのは「24.広域間・国際交流推進」次いで「8.交流による農村の活性化」「10.新エネルギー推進」

② 施策の「充足度」と「重要度」の相関図

「充足度」と「重要度」それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に「重要度」、横軸に「充足度」をとり、40の施策を散布図上に示し、「相関図」として各施策の位置づけを整理した。



■ 優先的に取り組むべき施策 (A領域)

世代	優先的に取り組むべき施策
全体	④商業振興、⑤工業振興、⑥雇用環境整備、⑦定住対策推進、⑨医療体制充実
20代以下	④商業振興、⑥雇用環境整備、⑦定住対策推進、⑨医療体制充実、⑫公共施設利活用、⑬道路網整備、⑭公共交通体系整備、⑮情報化推進 ⑯住宅等整備
30~40代	④商業振興、⑤工業振興、⑥雇用環境整備、⑦定住対策推進、⑰障がい者福祉充実、⑱医療体制充実、⑲男女共同参画社会推進、⑳公共施設利活用、㉑公共交通体系整備、㉒情報化推進 ㉓住宅等整備
50~60代	④商業振興、⑤工業振興、⑥雇用環境整備、⑨医療体制充実
70代	⑤工業振興、⑥雇用環境整備、⑪神話・自然等観光振興、⑱医療体制充実